

研究だより第1号



今年度の研究がスタートしました！児童生徒の「生きる力」を育むため、学年で話し合い、ICTを手立てとして活用を進めていきましょう！

以下は5/19の全体研・学年研を経て、先生方からいただいたご意見・ご感想になります。たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。まずは、2か年計画の研究1年目、よろしく願いいたします。

校内研究に関わって意見・感想

【全体研に関わって①】

・主題、副題と「ICTを活用した」とあるので、主題からは抜いてもよいのではないか。

⇒「ICTを活用した」の部分が重複しているとのこと指摘をいただきました。主題はすでに学校要覧に載せていて、修正が難しい状態です。副題から除くと、意図が伝わりづらくなるため、このままの研究主題でご容赦ください。

・研究のポイントを焦点化するために、指導案の中に研究の要素を入れてはどうか。

⇒そのようにしていきます。

・パワーポイントのある説明で分かりやすかったです。Jamboardの説明ですが、一緒に操作しながら確認すると、スムーズなのかなと思いました。（でも各学年の推進部の説明で、十分伝わるかとも思うので、今回のやり方でも困ることはないのかなと思いますが…少し気になっただけです。）

・「生きる力」の押さえを学校としてどのようにとらえていくのかについて、本研究において、何が主で、何に焦点を当てていくのかが把握できずにいました。学年としての「生きる力」を考えるにあたり、学部の押さえは？学校は？…など、どのような「生きる力」が本校としてめざすべき姿なのかがない（自分がわかっていないのですみません・・・）と学年ごとに単発の力が整理されるだけになり、一体化、連帯感が見えないなと思っています。ICTをからめて、授業をつくるにしても、「生きる力」をどのようにとらえるのかは必要なので、今後の方向性を考えながら進めて行けたらと考えます。あくまでもICTはその押さえを改善、成果づけていくツールだと考えて良いんですよね？ ⇒ご意見ありがとうございます。学部目標をもとに当該学年の児童生徒における「生きる力」を考えて頂いていると思います。学部目標は学校教育目標を具体化しており、本校の目指す児童生徒の姿（知徳体）を具現化することが、「生きる力」の育成に結びついていると考えます。ですので、学部目標を基に考えた、児童生徒に育みたい「生きる力」が学部ごと各学年で大きく異なるものにはならないと考えます。今後、各学年でより整理されたものを全体に還元できればと思います。ICTが手立てというのは仰る通りです。

・ICTについて勉強します。

・今回のテーマや見通しが分かり良かったです。各学年のテーマと学部目標とをどのような形で連携させるのが今後見えてくると良いかなと思いました。（小学部に限らず）

・準備等お疲れ様でした。「うんち」に対してのAIの返しが面白くも感心しました。

・授業づくりを通してICTの活用をみんなで検討できるのは良いなと思います。忙しくて授業についてじっくりと話せる機会がないのでとてもよい機会になると思います。

～研究だより第1号～

校内研究に関わって意見・感想

【全体研に関わって②】

- ・良いです。頑張ります。
- ・「ICTの活用」と言う本校にとって非常に意義ある研究だと思います。昨年度の研究をさらに発展していけると良いですね。
- ・とてもわかりやすかったです。準備お疲れ様でした。（同意見4）



【学年研に関わって】

- ・Jamboard、とても良いです。時間が経つのが早いです。タイムタイマーですね！
- ・6年生の授業を見て、それを深めたり、応用したりした授業をできればと思います。
- ・担当の先生が誘導してくれたので、簡単に操作ができました。
- ・Jamboard使いこなせたら便利になるなと思いました。この1年の研究で使えるようになりたいと思います。
- ・これから慣れたいと思います。
- ・ICTを使いこなせるように頑張ります。
- ・Jamboardについて初めて知ることができた。
- ・良かったと思います。何だかんだと楽しくできました。
- ・操作に慣れればとても使いやすいと思いました。
- ・iPadの設定が違う機種があり、その設定が大変で分掌だけするのは難しい（負担が大きい）だろうと感じました。本当に準備等いろいろお疲れ様でした。
- ・ICTの使い方の研修テーマなので、各研修のときに、よく使うアプリ、便利ツールなどの紹介があると良いなと思いました。お疲れ様でした。
- ・Jamboardは使用しやすく、今後も使用していきたいです。
- ・iPadを使用しての研修、とても興味深く、今後の参考となりました。
- ・リアルタイムに更新していくのが見やすくてよかったです。
- ・研究の中で実際にICTを活用できたのがよかったです。

今日の教育的課題

・「生きる力」…知・徳・体のバランスのとれた力であり、変化の激しい現代社会を生きるために必要な力

・GIGAスクール構想…1人1台端末環境下での新しい学びがスタート。多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できるICT環境が整ってきている。

学校教育目標

地域社会で心豊かに たくましく 生きる児童生徒を育てる

重点教育目標

一人一人の教育的ニーズに応じた自立と社会参加を目指す教育の推進
—社会に開かれた教育課程の編成と実施—

研究主題:

ICTを活用した生きる力を育む授業の実践を目指して』

～ICTを活用した授業づくりの基礎を通して～(1年次)

研究主題設定の理由

ICTは特別な支援を必要とする児童生徒の学習上または生活上の困難を改善・克服させ、指導の効果を高めることができる重要な手段である。ICTの活用は、個別最適な学び、多様な子どもに対する学習支援の充実を図ることに繋がり、児童生徒の学習の理解を助け、情報活用能力等の育成となる。

以上のことから、ICTの活用は「生きる力」を育成する可能性のある手立てとなり、本校の目指す児童生徒像および教育目標の具現化につながると考えるため、積極的に取り入れていきたい。

研究方法

- ICTを活用し、「生きる力」に焦点をあてた授業実践・授業研究
- 成果と課題の共有(報告会の実施)
- ICTに係る外部講師研修の実施(理論の共有化)



研究仮説

学習場面において、ICTを活用しながら児童生徒が主体的に学ぶことで、生きる力を育むことができるだろう。

学年研① (5/19)

各学年における育成したい「生きる力」(小)

小学部1年

- 衣服の整理
- 排泄
- 善悪の判断
- ルールの理解
- 伝え方の取替
- 共通しをもつ
- 好きなものを共有する
- 物を大切に
- たまたかない仲良く！
- 成功の喜びを知る

- 適切な表出
- 敏化する力
- 体力
- 余暇好きなものがある
- 人との関わり
- 日常生活動作
- 基本的な生活動作

- 善悪の判断
- 食べる
- 排泄
- 伝える
- 睡眠の安定
- 身体や手を動かす

- 注視 注目
- 学習に向かう意欲

- 返事をする
- やりとり
- 要求する
- あいさつ

- 共に行動する
- 模倣
- 気持ちの安定
- 両手を意識する



- 挨拶
- 身の回りのこと
- 人とかがわかること
- 自分から〇〇

- 健康
- 身の回りのこがでできる
- 体力
- 伝える、伝わる
- 可愛がられる人であれ

- 欲しいものが言える
- 助けを求める
- 柔軟性
- 協力する、分担する

- 見て、聞いて、考え、選択し、伝える力
- 読み書きができる
- 課題を見つける・解決する

小学部2年

- 基本的な生活習慣
- 学ぶ意欲

- 理由を伝える力
- 思いやり
- コミュニケーション能力

- 体力
- 考えようとする姿勢

- 友達を待つ
- あいさつ
- コミュニケーション手段

- 選ぶ力

- 「手伝ってください」「わかりませせん」と伝える力
- 語彙

- 自分の気持ちを伝える力
- 自己肯定感
- 評価



小学部3・4年

- 人に好かれる。
- 人とうまくやる。
- 1人で余暇を過ごせる力
- 楽しめることがある
- 食事・排泄の自立
- 身辺自立

- 人と上手に闘われる。(その人なりにでも)
- 他者と協調する折り合いをつける力
- 人に依頼する力
- お願いができる
- 交流の輪を広げる
- 余暇を楽しむの広がり
- 余暇の充実

小学部5・6年

- 考えて行動できること
- 自分のやるべきことを理解してやり通す
- 状況を踏まえて行動できる力
- 困ったときに対応できる。
- 自分で考えて行動する。
- 自分で決める力
- 情報収集情報選択
- 体力
- 待つことができる？
- その他



学年研① (5/19)

各学年における育成したい「生きる力」(中)

これから先

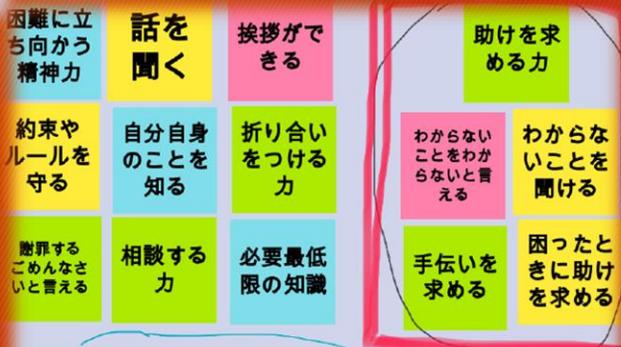
働くこと

働く(学習する)意欲



すぐできる

中学部1年



問題処理能力

どうしたら良いか考える

次の対策を考える

中学部2年

身辺自立

生活習慣の確立

自分ことは自分で行う

回生

中学部3年

日常と違うときに対応できる力

対応力

周りの様子を見て動く

どこまで何が出来るのかを知る

協力

協働する

協力する

適切なコミュニケーション

認め合う

気持ちを伝える

わからないことを伝える

協力をお願いする

助けを求める力



各学年の話し合いの内容をお知らせします(6/2時点)。今後、具体的なICT活用を考えていきますので、文言を整理したり、より焦点を当てたりすることになります。教育推進部員を中心によりしくお願いします。

付箋の字の見づらさはご容赦ください。ズームインまたは教育推進部の元データの閲覧をお願いします。